

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
自宅 042-795-7361  
FAX 042-795-2726  
yoshidaben@gmail.com



## 亀ヶ岡石器時代遺跡、田小屋野貝塚視察

青森県つがる市を訪れ、亀ヶ岡石器時代遺跡、田小屋野貝塚等を視察しました。亀ヶ岡石器時代遺跡は江戸時代から発掘されて、その遺物(籃胎漆器等)が大量に出回っているとされ、最も歴史的な発掘物は、遮光式土偶という縄文時代の出土品です。現物は、国立博物館に収蔵され、当地にはレプリカが展示されています。

他方の「田小屋野貝塚」は近年の発掘で、縄文時代の「成人の人骨」がほぼ完全な形で出土したもので、土壌の酸性が貝塚のアルカリ性で中和され、今日まで人骨が土中に保存されていたとのことでした。現代によみがえったもので、その田小屋野貝塚では、今でも発掘作業が進められており、この7月1日から新区画で作業が行われていました。

これらの双方の遺跡とも、「世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群」に2021.7.27指定されていますが、つがる市ではまとまった収蔵施設は作られておらず、大半は行政の古くなった建物を利用した仮設的な収蔵場所となっています。しかし、今日の状態でも、ツアーのバス旅行客やマイカーの見学者が増えており、後10年もすれば、大きな観光資源になるでしょう。



現地の視察では、「つがる市教育委員会教育部文化財課」の皆さんにお世話になりました。

## 議員提出議案に賛成討論：可決

以下の議員提出議案がありましたが、全部の議案賛否で吉田つとむは、結果的にそれぞれの多数派となりました。なお、第5号に反対討論があり、吉田つとむはその第5号議案に賛成討論をしました。提出会派は、「まちだ市民クラブ」会派でした。正規公務員を除く、非正規等の公務員の処遇改善を求める趣旨でした。採決結果は22票(議長を除いて総数35票)の賛成多数・可決でした。



◎第3号 環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書○

◎第4号 地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書○

◎第5号 会計年度任用試験の処遇改善にむけた法改正と雇用安定に関する意見書○

◎第6号 児童相手の所得制限撤廃を求める意見書○

◎第7号 都立高校入試における英語スピーキングのテスト導入見直しを求める意見書×

◎第8号 消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書×

◎第9号 75歳以上の医療費負担2倍化中止を求める意見書×

\*写真は、本会議場の自席で研修生と一緒に記念撮影

◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう！(新スローガンを提起しました)

◎支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

◎吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは  
左記を読込  
して送信



好評インターンシップは、間もなく第50期生がスタート

## つがる市の水耕栽培メロン実証試験施設

町田市内の企業が開発したメロンの水耕栽培システムの技術を導入した、「つがる市水耕栽培メロン実証試験施設」は、既存のガラス温室を利用しています。農林水産省補助事業である「農山漁村高齢者生きがい発揮促進事業」(平成9年度)に元づいて建設されて30年以上が経過した温室が、第2の貢献で、高付加の通年栽培メロンの施設に変換されたものでした。



通年栽培には冬場の保温は欠かせませんが、その熱源には、隣接する、「柏ロマン荘」という温泉施設があり、その廃温水が使われていました。北国のつがる市では、燃料代が不要なことが大きな意義があるでしょう。なお、今回の視察訪問時は7月に入っており、意外と高温でした。メロン栽培には、40℃を越すような気温は適しないとも聞きました。本年度予算では、ガラス温室全体をメロン水耕栽培の施設に拡張する工事が進められ、年度末までには、様々の品種、条件による栽培実証実験が繰り広げられる予定ですが、本格栽培(販売目的)への転換が期待されます。

## インターン体験記⑪上野竜空

「町田市議会本会議の代表質疑」に見学者として参加させて頂き、質疑の一連の流れを傍聴致しました。

当質疑におけるキーワードとして、世界的な情勢悪化における「物価上昇」や「鶴川駅ならびに相原駅の周辺整備」、「中学校給食センター」などが散見されましたが、特に注目すべきは「多摩都市モノレールの町田方面延伸計画」だったと考えております。

例えば、多摩センターから町田までに続く線路を作ることで、各駅周辺の街が活性化したり、多摩周辺地域との移動がシームレスになること、などメリットも多くあることを再認識しました。しかしながら、鋭い観点での質問も見受けられ、結果、「延伸に伴う総事業費のあいまいさ」や新駅誕生を待ち望んでいた地域住民の「域外流出」など、課題も明らかになったと感じました。

私は今回の質疑を通して、市民を代表して現在もしくは将来的な行政活動(計画)の利点や課題を露見させる、「市議会議員の職責」を改めて実感しました。



中央大学4年生 上野竜空(第50期研修生)

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年4月末より50期生が研修を開始しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎夏季のインターンシップは引き続き第50期生となりますが、合計3名が参加予定です。